

一般国道１６９号 御所高取バイパス事業説明会概要

日 時：令和８年８月３１日（月） １９時～１９時５０分

場 所：茅原公民館

出席者：本馬、茅原、茅草、緑町地区 １１名

<主な意見>

【道路構造】

- ① 新しくできる道路は、一番高いところで何mくらいか。  
→（県）函渠を作るところで約６mの計画である。
- ② 参考までに、京奈和自動車道の高さは何mくらいなのか。  
→（県）正確な数字は分からないが、１０mくらいだと思われる。

【道路等の分断】

- ① 京奈和自動車道一般部との交差点（信号交差点②）について、もう少し詳しく説明してほしい。  
→（県）この交差点において、本馬川の付け替えが必要となる。市道東寺田本馬線の交差点への接続は安全上の課題があるため、通行止めとする。市道掖上１２２号線から御所高取BP本線に入る市道を復旧する考えである。

【環境】

- ① 本馬川の付け替えを行うとのことだが、河床の切り下げなどの対策も検討してほしい。  
また、既存道路の取り付けが函渠（アンダーパス）になると水が溜まりやすくなる。当地は災害時に６０ｃｍほど水が溜まる地域に指定されており、農地も１．５m掘ると水が湧いてくる。道路構造物を作る際には、付随する河川についてもきちんと考えてほしい。  
→（県）本馬川の抜本的な対策については、上流部を広げても下流部がせまいとあふれるため、下流から順番に進めていく必要がある。上流と下流の河床の高さをふまえて、付け替え部分の河床勾配を計画する必要がある。今回計画している函渠は、地下にはならないため、水が溜まってしまうような場所にはならない。しかし、最近いろいろな地域で集中豪雨が発生しているため、水路であふれることはありうる。

【今後の予定】

- ① 順調にいけば、いつ頃に完成する予定なのか。  
→（県）具体の完成時期について明確にお答えすることはできない。奈良県では、用地買収の進み具合等にもよるが、文化財の発掘調査が必要になり、事業期間が長くなるという課題がある。同じくらいの延長である高取バイパスは３０年くらいかかっている。できるだけ早く開通できるよう努力します。
- ② 用地買収について、５年後には立ち退きが強制的に行われるのか。また、５年後でも同じ値段なのか。  
→（県）買収の値段については、拒否したことにより上がったたり下がったりするものではない。任意交渉により、可能な限り速やかに買収したいと考えている。最終的に同意が得られず、少数の方が事業に反対したことにより、周りの方の公益がおかされるような場合、土地収用法に基づき、適切に対応する。

以上